

輸出ターゲット国・ 地域市場・規制等調査結果

(令和5年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業)

一般社団法人 日本青果物輸出促進協議会

山梨県果実輸出促進協議会

令和6年9月10日(火)～12日(木)

調査市場:香港

目的

- ◆ 輸出ターゲット国・地域である香港において、日本産もも、ぶどうを扱う現地バイヤー(3社)と面談し、日本産果実の品質、需要、競合産地(中国産・韓国産シャインマスカットなど)の果実品質や流通実態及び需要等について意見交換を行い、今後の輸出拡大に向けた課題や対応等について検討する。

行程

実施日	調査先	内容
9月10日(火)	輸入事業者 ①	ヒアリング
	小売店 A	市場調査
9月11日(水)	輸入事業者 ②	ヒアリング
	小売店 B	市場調査
	小売店 C	市場調査
	輸入事業者 ③	ヒアリング
	小売店 D	市場調査
	小売店 E	市場調査
	小売店 F	市場調査
小売店 G	市場調査	

バイヤー面談結果

◆ 香港の情勢について

現在の香港情勢は、コロナ明け以降、中国景気の降下に伴い、高価な日本産商品を買わずに安価な中国産商品等へ切り替え、その分を貯金して旅行等へ出費する傾向。高級食品店の売り上げは50%ダウンし、カジュアル食品店(ファーストフードやファミリーレストラン等)が売上を伸ばしている状況。

また、買い物へ行く際も、香港内より物価が安い中国「深圳地区(香港から車で30分~1時間程度)」へ行く人が増加しており、香港スーパーの売上減少の原因となっている。

◆ 日本産果実について

(もも)R6年産は希少の影響か軟らかい品が多かった印象。ももの需要は多く硬い品種が好まれる傾向。

(ぶどう)香港では、高級品が売れなくなっており、シャインマスカットもコンテナ品(5,000円/房)よりパック品(1,500円/房)へ切り替わっている状況。また、味より見た目、色が重視される傾向がある。

◆ 競合国(中国産・韓国産)の果実品質等について

(もも)中国産のレベルが上がってきている。

(ぶどう)シャインマスカットの売り場は充実しており、日本産・韓国産が大半を占めている状況ではあるが、中国産も散見される。韓国産の食味・見た目は日本産とさほど変わらず、価格は日本産の2/3程度のため脅威である。

◆ 今後の対応について

引き続き日本産の高品質果実の生産に努めるとともに、若い次世代後継者のことを考えて、しっかりとした単価形成を行い、輸出事業を向上させることが重要。

小売店調査結果

◆ 販売価格(調査店舗 7店舗)

(もも)日本産のももは販売店によって価格変動が顕著。

日本産もも(2玉) 約 1,500~1,800円

日本産もも(4玉) 約 2,000~2,500円

韓国産もも(2玉) 約 800~1,200円

中国産もも(2玉) 約 400円

(ぶどう)山梨県産を始め、岡山県産、長野県産などのシャインマスカットが多く見られた。

日本産シャインマスカット(1房) 約 3,500円~9,000円

韓国産シャインマスカット(1房) 約 2,500円~3,600円

中国産シャインマスカット(1房) 約 500円~1,000円

◆ 販売形態

中秋節前のため、いずれの店舗でも詰め合わせ品が多く売り場に並んでいた。中級購買層以上が利用する小売店では、店内も整頓されており、日本と同等の陳列がされていた。

